

## 汚水関係施設設置（変更）届出書

平成 年 月 日

八戸市長 殿

届出者  
〔氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名〕

八戸市内丸一丁目1-1  
株式会社 ⑩  
代表取締役 八戸太郎

青森県公害防止条例第34条（~~第35条~~）の規定により、汚水関係施設の設置（変更）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社 工場	整理番号	
工場又は事業場の所在地	八戸市内丸一丁目1-1	受理年月日	年 月 日
汚水関係施設の種類	1 有害物質を含む汚水等の排出を伴う試験又は検査を継続的に実施するための施設	施設番号	
汚水関係施設の構造	別紙1のとおり。	審査結果	
汚水関係施設の使用の方法	別紙2のとおり。	備 考	
汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
用水及び排水の系統	別紙5のとおり。		

### 備考

- 1 汚水関係施設の種類の欄には、青森県公害防止条例別表第3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更に係る 印の欄の別紙について記載し、かつ、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、函面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

## 汚水関係施設の構造

汚水関係施設の種類	1	
工場又は事業場における施設番号	1	
名称	実験室	
型式		
構造	鉄筋コンクリート製	
主要寸法	添付第1図のとおり	
能力		
工事着手予定年月日	平成 年 ××月 日	平成 年 月 日
工事完成予定年月日	平成 年 ××月 日	平成 年 月 日
使用開始予定年月日	平成 年 ××月 日	平成 年 月 日
汚水関係施設及びこれに関連する主要機械または主要装置の配置	添付第 1 図のとおり	
参考事項		

## 汚水関係施設の使用の方法

汚水関係施設の種類		1			
設置場所		別添第 1 図のとおり	別添第 図のとおり		
汚水関係施設を含む操業の系統		別添第 2 図のとおり	別添第 図のとおり		
使用状況	使用時間の間隔	連続			
	1日当たりの使用時間	8:30~17:00			
	季節的変動	なし			
消耗資材の使用状況	使用消耗資材の種類	水質分析用試薬(別添リスト)			
	使用方法	水質分析			
	1日当たりの使用量	別添リストのとおり			
汚水等の汚染状態及び量	通水	水量 $m^3$ /日	1		
		pH	5.8~8.6		
		BOD	150		
		SS	120		
		六価クロム	<0.04		
	常質				
最大	通水	水量 $m^3$ /日	2		
		pH			
		BOD	200		
		SS	170		
		六価クロム	<0.04		
	常質				
参考事項					

備考 水質の欄には、当該汚水関係工場等の排水に係る排水基準に定められた事項について記載し、かつ、単位を明示すること。

## 汚水等の処理の方法

汚水関係施設の種類		1											
汚水等の処理施設	設置場所		添付第 1 図のとおり						添付第 図のとおり				
	工事着手予定年月日		年 × × 月 日						年 月 日				
	工事完成予定年月日		年 × × 月 日						年 月 日				
	使用開始予定年月日		年 × × 月 日						年 月 日				
	種類												
	型式及び構造		鋼鉄製、アルミ張り										
	主要寸法		別添構造図参照										
	能力		20 (m <sup>3</sup> /日)										
汚水等の処理の方式		凝集沈殿											
汚水等の処理の系統		添付第 3 図のとおり						添付第 図のとおり					
汚水等の集水及び導水の方法		添付第 1 図のとおり						添付第 図のとおり					
使用状況	使用時間間隔		連続										
	1日当たりの使用時間		8:00~17:00										
	季節的変動の概要		なし										
消耗資材	処理に要する消耗資材の名称		凝集剤										
	1日当たりの用途別使用量		500g										
汚態水等及び汚び染状量	通水		量m <sup>3</sup> /日						10				
	常質	項目	pH	BOD	SS	六価クロム							
		処理前	5.8~8.6	3	3	<0.5							
		処理後	-	<1	<1	<0.5							
	大質	最水		量m <sup>3</sup> /日						15			
		項目		BOD	SS	六価クロム							
			処理前		5	5	<0.5						
			処理後		1	1	<0.5						
残さ	種類		汚泥										
	1日当たりの生成量		5kg/月										
処理方法の概要		専門業者に処分委託											
公共用水域への排出の方法		側溝 馬淵川											
参考事項		廃液については全量回収											

備考 水質の欄には、当該汚水関係工場等の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載し、かつ、単位を明記すること。

## 排水水の汚染状態及び量

排水口の名称		最終放流口	
排水量 ( m <sup>3</sup> / 日 )	通常	15	
	最大	25	
水質	pH	通常	5.8 ~ 8.6
		最大	
	BOD	通常	10
		最大	15
	SS	通常	15
		最大	30
	六価クロム	通常	< 0.5
		最大	< 0.5
		通常	
		最大	
		通常	
		最大	
	通常		
	最大		
参考事項		排水は生活排水（通常 5 m <sup>3</sup> / 日、最大 10 m <sup>3</sup> / 日）を含む	

備考 水質の欄には、当該排水に係る排水基準に定められた事項について記載し、かつ、単位を明示すること。

## 用水及び排水の系統

用途別用水量 使用	汚水関係施設・・・上水(通常10m <sup>3</sup> /日、最大15m <sup>3</sup> /日) 生活用水・・・上水(通常5m <sup>3</sup> /日、最大10m <sup>3</sup> /日)
用水及び 排水系統	添付第1図のとおり
参考事項	